



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

平成27年1月30日

2月号

横浜市立釜利谷南小学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariyaminami/>

校長 田中 綾子

気合を入れて

1月13日から30日まで校内書き初め展でした。冬休み明け1週目に各学年書き初めをしました。作品はすぐ廊下に掲示されました。

1・2年生は硬筆です。1文字1文字丁寧に書かれた字は鉛筆でも“とめ”や“はらい”がきちんとできていることが分かります。3年生は、体育館での毛筆です。大きな書き初め用紙に臨みます。4・5・6年と高学年になるに従い、書く字も難しくハードルは上がります。毛筆は修正がきかないので書き始めるときは覚悟が必要になりますが、その緊張感や気合いが運筆に表れ、のびのび感や生き生き感のある書になります。

毎年、書いているときの様子を見ることを楽しみにしています。どの子も背筋がしゃんと伸び、後ろ姿から清々しい真剣さが伝わってきます。

3年生

初めての
体育館での毛筆書き初め

1年生

硬筆

2年生

「きれいな日の出のこと」 「たこあげのこと」

3組4組



4年生

5年生

6年生



胸を借りる

1月27日は5年生の区球技大会でした。釜利谷中学校のサッカー部が早朝練習に教えに来てくれました。今年度は6年生のサッカーが市球技大会に参加しましたので、そのときもお願いしました。サッカーの技術はもちろんのこと、挨拶や態度も気合いが入っていて力強く爽やかで良いお手本です。

そして、6年生有志も5年生のバスケットの早朝練習に参加してくれました。5年生にとって、自分たちよりも強い相手の胸を借りて実践しながら練習できることは幸せです。

26日は6年生による壮行試合でした。先輩の胸を借りて攻守、緩急を体感して明日に役立ててほしいと思っていました。百聞は一見にしかず、カットインするとはこのことか、コースをよむとはこのことか、ここでは声を出した方がいいな、等々一気に学んだようでした。5年生は見違えるような進歩を見せました。

先輩たちの胸を借りて練習できたことに感謝し、次は後輩に胸を貸すという教えのバトンタッチをこれからも繋いでほしいです。良き釜利谷南小学校の伝統を大切に。



毎年、釜利谷西小学校と球技大会で戦っています。会場は釜西小と釜南小で毎年交代です。今年は釜西小でした。笑顔で出迎え、見送ってくださいます。嬉しい交流の場でもあります。